



第41号

地域なんでも情報局

令和3年8月17日発行
長崎市社会福祉協議会
長崎市上町1番33号
095-828-1281



6月20日（日）午前7時から
長崎居留の父、トーマス・グラバーが愛した南山手界隈を
きれいにしようと近隣地域から
国宝・大浦天主堂に150人も
の参加者が集まりました。

梅雨の晴れ間のこの日参加
者は、家族や友人に分かれ、
トンネとゴミ袋を手に朝日の
中へ飛び出して行きました。

この活動は、年に1回、父
の日に併せて、グラバーズネット
ワーク協議会が開催してい
る活動です。

かつて長崎は、鎖国時代に
日本で唯一、西洋と通ずる玄
関口でした。この東山手、南
山手、大浦地区には多くの人々
が居留し、医学、蘭学、兵学
などを学び、日本の夜明けを
告げる重要な役割をもつた地
でもあります。

また、平成8年から地元の
有志が実行委員会を立上げ、
「長崎居留地まつり」をスター
トして26年目を迎えます。

この日の清掃は、コロナ禍
の影響か、人工ゴミは殆ど無
く、参加者は落ち葉ひろいや
草むしりに勤しました。集
めたゴミは、グラバー園出口
に集め、リンガー住宅にみん
なで移動し、冷茶で一息入れ
た後、記念写真を撮りました。
参加者は、「居留地まつり

居留地大清掃

南大浦支部

サロノ活動再開

を前にまちがきれいになつた。
「早くコロナが収まってくれ
れば、お客様が帰つて来て
いました。（本村 信幸）

多くの地域が新型コロナ
ウイルス感染症の影響で、
活動を休止している中、カ
ワセミは感染対策を十分に
行い、活動を続けています。

当日は、天候にも恵まれ、
少し蒸し暑い中10人程度で
活動を行いました。

タオルを使つた軽体操、
筋トレ、エンカ（演歌）サ
イズなど1時間程度しつか
り活動しました。特に筋トレ
はかなりハードで、風通
しの良い室内でも汗が吹き

出すぐらいでした。

演歌とエクササイズを合
わせたエンカサイズでは、
皆さん演歌を口ずさみながら
体操されていました。

コロナ禍で多くの活動が
制限されていますが、それ
を吹き飛ばすほどパワフル
な活動に元気をもらいました。

「カワセミ」は週に2回サ
ロノ活動を行つており、と
ても活発なサロノです。男
性の参加者が少ないのでも
の活動を地域全体に広めて
いきたいです。

（戸畠 太一）

当会ホームページから「地域なんでも情報局」
「長崎 地域なんでも情報局」で検索♪



